

各都道府県高体連バレーボール専門部 委員長 様

各都道府県高体連バレーボール専門部 強化指導普及委員長 様

(公財) 全国高体連バレーボール専門部
部長 田野 敏彦
同 強化指導普及委員会
委員長 本多 洋

(公財) 全国高体連バレーボール専門部強化事業について

強化事業の目的：次の4つのステップを1サイクルとし、継続的に長身選手・優秀選手の発掘・育成に努め、将来日本を代表する選手を輩出することを目的とする。

ステップ1 高校9ブロック長身選手発掘育成合宿(ドリームマッチ推薦選手選考合宿)

- ・各都道府県の1、2年生で長身または優秀な選手2~4名を推薦し、それに若干名の追加推薦選手を含めて実施する。
- ・JVAより各ブロックに1名の派遣指導員に参加頂き、トレーニング理論、講話なども必要に応じて行ってもらう。
- ・ブロック合宿指導者（JVA派遣指導員を含む）により、推薦選手の順位付け（6位まで）を行う。
- ・以下の数字に従ってステップ2への推薦数を決定する。（24名）

(国体本大会へのブロックからの参加数を基準とする。但し北海道は+1。)

北海道	東北	関東	北信越	東海	近畿	中国	四国	九州
2	3	4	2	2	3	2	2	4

ステップ2 全日本ジュニアオールスタードリームマッチ（高校選抜候補第一次選考合宿）：2月

- ・以下の枠より男女それぞれ48名の選手を選考し、4チームに分け2日間に渡りリーグ戦を行う。
 - ① ブロック合宿（ステップ1）推薦枠
 - ② 特別推薦枠
全日本ユース・ジュニア選手、ブロック合宿参加選手で特に有望な選手（推薦枠以外）等を推薦。
 - ③ 選手権大会推薦枠
全日本バレーボール高等学校選手権大会（春高バレー）より推薦。

ステップ3 全国高校バレーボール男女選抜強化合宿(高校選抜候補第二次選考合宿)：3月下旬

- ・8月総体後に行う海外遠征（次のステップ4）を睨み、ドリームマッチ（ステップ2）出場選手から24名を選考し、4泊5日で最終選考合宿を行う。
- ・必要に応じて大学生、企業チーム等との練習試合も行う。

ステップ4 全国高校バレーボール男女選抜海外遠征：8月

- ・ステップ3で決定した選手12名が総体終了後、数日の合宿を行い海外に遠征し親善試合を行う
- ・遠征先のユニバ代表、国内ユースチャンピオンチームなどと4~5試合を実施する。